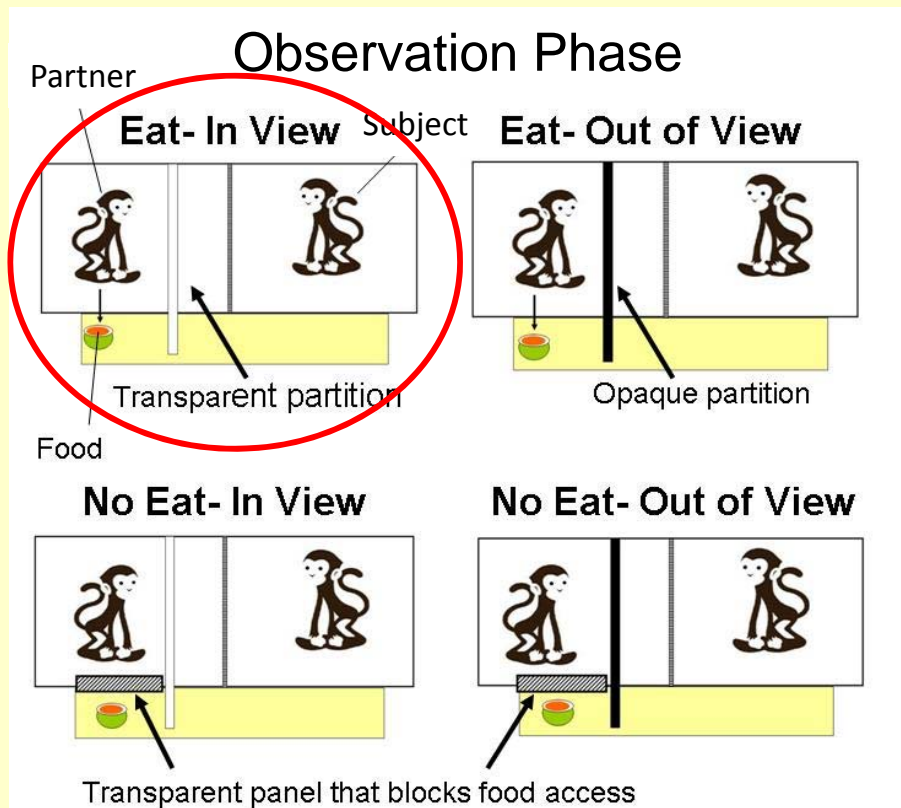


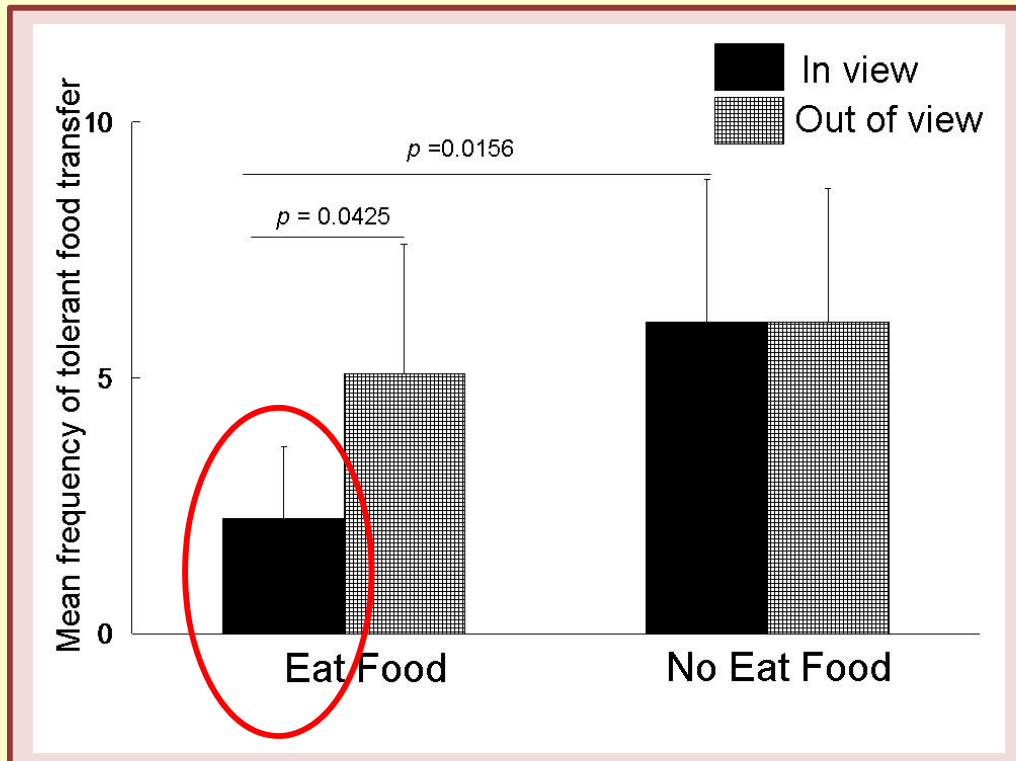
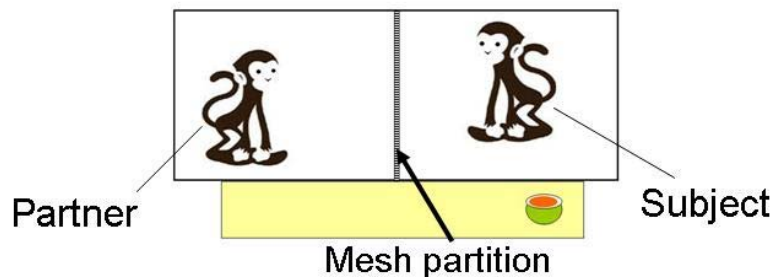
Hattori, Y., Leimgruber, K., Fujita, K., & de Waal, F. B. M. (2012) Food-related tolerance in capuchin monkeys (*Cebus apella*) varies with knowledge of the partner's previous food-consumption. *Behaviour*, 149, 171–185. (DOI: 10.1163/156853912X634124)

フサオマキザルによる他個体の動機づけ状態の推理



手続き

Test Phase



パートナー個体が食物を食べているところを事前に観察すると(Observation Phase)、後刻フサオマキザルは、そのパートナーに対する食物供与の許容度を減少させる(Test Phase)。食物を食べていないところを観察する、あるいは食べているところが仕切りで遮られてみえないようにすると、そのような現象は生じない。つまり、フサオマキザルは、過去の観察から推測できる現在の他者の動機づけ状態にしたがって、食物の分配を調節する。